

大正七年三月

人字才

瓊崖の南軍兵善後連絡部長 伍質啓次郎

粵越閩省海軍特派員辦公処海南島処事処主任 伍付駿殿

不願留用者帰國並ニ身上取扱件申請

貴部留用ノ在海南島日本官兵均より不願留用者ニシテ

ハ職トシテハ彼等が久シク家族ノ通信ヲ絶エ然ル故國被シ

甚大ナル戦災ニ依リ家族ノ安全ヲ判明セシ一方、目前ニ同僚

還送ヲ觀ルソノ心情ニ具ニ焦燥ト懊惱ニ溢ル事面キ實ニ

忍ビ得ヤルモノナク、彼等帰國ヲ日千秋息ヲ以テ待ツ家族

對シト職歸國後彼等が貴部ニ留用ニ至レル事情ヲ速

急設ルシ以テ安堵セシム要ナリ之候條、貴部ニ於テモ

特ニ彼等ノ衷情ヲ同情スル上、左記ニ関シ何分儀申上

ラ得度此ノ段申請申上候

記

如左ノ官兵及中士

伍清

海

軍

一、本部に於ける不妊留用者（南部地区ノモノヲ含む）ハ之ヲ

張海口港口運輸司令ノ指定ニ依リ今後

三月以内ニ來航スルキ最後歸還船ニ乗金貨帰國方

取計ラレ度

二、留用者ノ待遇ニ関シ明確ニ指示ヲ與ヘ之彼等ノ留用中ノ
生活ニ對スル不安ヲ去ラシメ度

三、船体、機関、燃料等船舶（永綏、永靖）ハ長途ノ航海ニ
危険ナルヲ以テ香港、廣東方面ノ航海ニ使用シテ免
控シ度、強ヒテ使用セラル、際ハ留用者ヲ貴國要
員ト交代セシメ度

四、船員中船長及機長以外ハ公陸上勤務者ト
交代ヲ許可セラル度

海

張軍

0681

第一海軍部不致留用者三十二名ニ付テ

(一) 全部ヲ今次ノ海還船ニテ海國セシメラレシトテ切望ス

(留用解除)

(二) 右不致場合三更ニ留用員數ヲ減ズルルヤストヲセズハ
全員(三十二名)引續キ留用セラレヌ、但シ左ノ件
ノ確實ナル實リヲ切望ス

◎ (イ) ニテ月隔ニ來航スヘキ番後ノ海還船ニテ全員海國セシムルヲ
(ロ) 和光丸及和丸ハ船体梯固老朽セルガ長途ノ航海危險ナリ
依テ香港、厦門方面ヘノ航海ニハ之ヲ使用セザルヲ

(ハ) 尤兩船ノ船員中船長及梯固長以外ノモノハ隨時陸上勤務
者ト交代セシムルヲ

(ニ) 右不致留用者ノ所屬ニ因シ明確ニ指示セラルルヲ

經

橋本

第三、上記以外、海軍部留用者（市部地区ノモノヲ含ム）ハ

④ 二ヶ月後ニ乗船スル中最後兩週船ニテ全員泊国セシ

ノヲレシトヲ切望ス

（全島ノ海軍留用者名簿ヲ作成セラル）

0683

⑤ 免不
 ④ 由尾調
 ③ 但總有
 ② 有船印送返國
 ① 以今王
 其他(南部地区ノ毛)
 諸君、諸君、將各人要求各
 事項依一公事來、便、便、便

0684 0683

陸軍省官史善後連絡部人字第一八号

昭和二十一年三月二十日

陸軍省官史善後連絡部長

海防艦乗組員日本官史善後連絡部長

海防艦乗組員日本官史善後連絡部長

海防艦乗組員日本官史善後連絡部長

記

一海防艦乗組員日本官史善後連絡部長

後三月以内ニ乗組員ノ帰還船ニ乗員乗船國方

取計ハ度

二上記乗組員ノ帰還船乗船約十日所ニ右乗組員ヲ乗船地ニ集中

待機セシメ乗船歸國ニ便ナラシメ度

三上記海防艦乗組員日本官史善後連絡部長

海軍

0685

0684

海

軍

（五）被尋、留用中、生活ニ對スル不安ナカランメデ

（終）

0686

海軍警備府

字

人 第 八 五

號

中華民國三十五年三月三日

敬啟者竊

聞海鷗艦乘組船員之日本人

(一)該海鷗艦乘組船員日本人依張海口港口運輸司令指定以
必須搭飛今後二個月內來島之最後輪船歸國

(二)以該最後來航船十日前集中於飛船地點俾便待機上船
(三)對該海鷗艦乘組日人船員待遇予以明確指示使該日人等
于留用中免生活之不安為此相應函請

查照懇對閱惠照切

見覆 至紐公誼

右 致

0687

奥州道海軍特務辦公處海南島辦事處主任符

琉球日本官兵善後連絡部長 伍賀啓次郎

0688